

川内川高潮対策事業が着工！

川内川河口部の浸水被害解消のため、川内川高潮対策事業着工式が10月19日に薩摩川内市港町で行われました。国や関係自治体、地元選出国會議員、建設業者など約100名が出席し、安全と早期完成を願いました。

日時 : 2019.10.19土 10:20～11:20

会場 : 薩摩川内市港町地先(川内とれたて市場横)

主催 : 川内川下流改修促進期成会、川内川河川事務所

出席者 : 小里衆議院議員、尾辻参議院議員、野村参議院議員、
岩切副知事、薩摩川内市長、さつま町長、九州地方整備局長
ほか約100名!

高潮対策事業とは

川内川河口の船間島と久見崎地区では台風通過時に海水が越波し、工場等の冠水や市道の路面損傷等被害が出ているため、約1kmの堤防を高さ約1.8m高くし、海水による被害を防ぐ事業です。



来賓の方々



小里衆議院議員



尾辻参議院議員



野村参議院議員



岩切鹿児島県副知事



岩切薩摩川内市長



村山九州地方整備局長



式典の様子



川内踊り太鼓のみなさん

川内川今昔(15) 西南戦争で川内川を渡って戦った大浦兼武(後の大臣)

NHK大河ドラマ「西郷どん」が好評のうちに終了しました。

官軍は、西郷率いる薩摩軍を鹿児島に追い込みました。明治10年(1877年)6月22～23日、薩摩軍、官軍が宮之城(さつま町)の虎居から屋地へ川内川を渡りました。

当時は、川内川にほとんど橋は無く両軍とも歩いて川内川を渡りました。

宮之城の屋地出身で、後に警視總監、内務大臣、農商大臣などを歴任した官軍の大浦兼武は、部下に川の浅い箇所を教え渡河させました。そして、郷里の宮之城の人達に危害が及ばないよう「鉄砲は空に向かって打て」と命じたと伝えられています。

虎居地区はH18.7の川内川大洪水で大きな被害を受けました。国により大規模な災害復旧事業が行われ、虎居地区には特殊堤(コンクリートの壁型の堤防)が建設されました。その特殊堤に陶製のパネルが設置され、大浦兼武のことが紹介されています。

レポーター:九州防災エキスパート 加治屋 義信氏[三州技術コンサルタント(株)]



虎居地区の特殊堤設置された陶製パネル

「川内川Webマガジン せせらぎ」とは、川内川河川事務所の動きを住民の皆様に広く知ってもらう事と、川内川流域での川内川に関する地元のボランティア活動や催し等の情報交換の場になる事を目的とし、川内川河川事務所ホームページ上で定期的に更新しています。お気軽にご覧ください。

川内川河川事務所ホームページアドレス <http://www.qsr.mlit.go.jp/sendai/>

皆様がお持ちの、川内川に関するさまざまな思いや意見、河川清掃等のイベント情報を「川内川Webマガジン せせらぎ」にお寄せください。文字数は300字程度。お名前と連絡先も一緒にお送りください。写真もあれば、ぜひご提供いただきますようお願いいたします。皆様からの投稿を今後も掲載していきますので、よろしく願いします。(スペースの関係等で掲載できない場合もあります。ご了承ください。)

メールで送られる場合は sendai@qsr.mlit.go.jp

FAXなら 0996-25-0862へどうぞ!

「川内川Webマガジン せせらぎ」に関するご相談・お問い合わせ先

事務局:国土交通省 川内川河川事務所 調査課 TEL:0996-22-3359

FAX:0996-25-0862